



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場会社名 グンゼ株式会社

上場取引所 東大

コード番号 3002 URL <http://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 弘

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部 広報IR室長 (氏名) 富岡 修

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 平成23年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	32,624	△1.4	704	△40.2	844	△42.8	979	△5.3
23年3月期第1四半期	33,096	△3.3	1,177	41.0	1,476	41.4	1,034	62.3

(注)包括利益 24年3月期第1四半期 225百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △1,049百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	5.07	5.06
23年3月期第1四半期	5.25	5.24

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	165,130	112,522	67.4
23年3月期	163,917	113,345	68.6

(参考)自己資本 24年3月期第1四半期 111,342百万円 23年3月期 112,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	7.50	7.50
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	67,000	△0.3	500	△70.0	500	△72.3	400	△44.4	2.07
通期	143,500	7.3	3,500	13.5	3,400	3.5	2,100	16.9	10.88

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	209,935,165 株	23年3月期	209,935,165 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	16,861,854 株	23年3月期	16,853,412 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	193,077,812 株	23年3月期1Q	196,952,579 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日～平成23年6月30日）のわが国経済は、甚大な被害をもたらした東日本大震災と、その後の福島原子力発電所事故による電力供給問題などから生産活動が停滞し、また消費の自粛ムードもあり、国内景気は減速を余儀なくされました。

当社グループにおいては、機能ソリューション事業は、震災による工場設備の被災や計画停電などの影響が一部ありましたが、早急に復旧対策を講じ事業への影響を最小限に抑えました。アパレル事業は、綿花を中心とする原材料価格の高騰や海外労務費の上昇に加え、節約ムードの高まりなど、引き続き厳しい状況で推移しました。

このような状況のなかで、当社グループは、当年度よりスタートしました中期経営計画「Innovation4S」（平成23年度～平成25年度）に基づき、「成長確保」と「体質強化」を基本戦略として、激変する市場環境への対応力強化に取り組んでおります。その結果、当第1四半期連結会計期間の売上高は32,624百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は704百万円（前年同期比40.2%減）、経常利益は844百万円（前年同期比42.8%減）、四半期純利益は979百万円（前年同期比5.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野では、連結子会社の福島プラスチック（株）等が被災し、一時的な稼働停止を余儀なくされましたが、4月には完全復旧し、新設の複合ナイロン2号機も稼働を開始しました。また、震災後のフィルム供給の不安から仮需要が発生し、水および茶系飲料向けの平板収縮フィルムが伸長しました。エンジニアリングプラスチック分野では、震災による影響が一部あったものの、主力のOA機器用の部材はサプライチェーンの早期復旧により全般的に堅調に推移しました。電子部品分野は、タブレット型端末向け透過型静電容量方式のタッチパネルの受注が順調に拡大しましたが、新商品の立ち上がり遅れと既存品が低迷したこともあり、成果には繋がりませんでした。メディカル分野は、骨接合材と縫合補強材が好調に推移しました。以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は12,010百万円（前年同期比1.0%増）、営業利益は1,146百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

<アパレル事業>

インナーウェア分野は、節電による涼感商品への需要の高まりもあり、シーズン肌着（クールマジック等）は順調に推移しましたが、ファッション・カジュアル商品が苦戦しました。レッグウェア分野でも、涼感などの機能性を打ち出した商品は健闘しましたが、レギンスのトレンド一巡に加え、震災後の自粛ムードによりファッション商品が苦戦しました。以上の結果、アパレル事業の売上高は17,655百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は213百万円（前年同期比63.3%減）となりました。

<ライフクリエイト事業>

不動産関連分野は、商業施設「グンゼ タウンセンター つかしん」は新規テナント導入や地域密着型の販売促進に努めましたが、消費の低迷および近隣の大型商業施設のオープンやリニューアルの影響から苦戦しました。また、昨年10月に賃貸契約を解除した前橋商業施設については、後継テナント交渉を進めております。スポーツクラブ分野では、新規顧客の獲得と効率運営を進めました。以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は3,235百万円（前年同期比3.7%減）、営業利益は168百万円（前年同期比46.8%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、165,130百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,212百万円増加しました。主な増加要因は、機械装置及び運搬具の増加3,492百万円、受取手形及び売掛金の増加2,170百万円、建物及び構築物の増加1,184百万円であり、主な減少要因は、その他固定資産（建設仮勘定等）の減少3,925百万円、投資有価証券の減少2,103百万円であります。

負債は、52,608百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,036百万円増加しました。主な増加要因は、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金の増加3,632百万円であり、主な減少要因は、退職給付引当金

の減少1,826百万円であります。

純資産は、112,522百万円となり、前連結会計年度末に比べ823百万円減少しました。主な減少要因は、配当による減少1,448百万円、その他有価証券評価差額金の減少923百万円であり、主な増加要因は、四半期純利益の計上による増加979百万円、少数株主持分の増加267百万円、為替換算調整勘定の増加204百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結会計期間の業績が概ね想定範囲内で推移していることから、平成23年5月13日に発表した平成24年3月期の連結業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

そのため、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,905	6,162
受取手形及び売掛金	27,122	29,292
商品及び製品	17,436	17,375
仕掛品	6,423	7,474
原材料及び貯蔵品	5,673	6,401
その他	4,189	4,085
貸倒引当金	△28	△17
流動資産合計	67,722	70,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	36,770	37,955
機械装置及び運搬具（純額）	12,811	16,303
土地	11,996	12,008
その他（純額）	5,890	1,965
有形固定資産合計	67,468	68,231
無形固定資産	2,190	2,126
投資その他の資産		
投資有価証券	16,698	14,594
その他	9,985	9,551
貸倒引当金	△147	△147
投資その他の資産合計	26,536	23,998
固定資産合計	96,194	94,355
資産合計	163,917	165,130

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,844	7,900
短期借入金	3,993	4,858
コマーシャル・ペーパー	12,800	15,600
1年内返済予定の長期借入金	1,081	1,083
未払法人税等	509	730
賞与引当金	1,311	413
その他	7,717	8,675
流動負債合計	35,257	39,262
固定負債		
長期借入金	5,175	5,141
退職給付引当金	4,623	2,796
長期預り敷金保証金	4,906	4,715
その他	608	692
固定負債合計	15,313	13,345
負債合計	50,571	52,608
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	14,082	14,082
利益剰余金	80,033	79,656
自己株式	△7,286	△7,288
株主資本合計	112,900	112,521
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,592	1,669
繰延ヘッジ損益	△416	△423
土地再評価差額金	△400	△400
為替換算調整勘定	△2,228	△2,024
その他の包括利益累計額合計	△452	△1,179
新株予約権	200	214
少数株主持分	697	965
純資産合計	113,345	112,522
負債純資産合計	163,917	165,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	33,096	32,624
売上原価	23,780	23,938
売上総利益	9,316	8,685
販売費及び一般管理費	8,139	7,981
営業利益	1,177	704
営業外収益		
受取利息	7	3
受取配当金	195	161
固定資産賃貸料	152	161
投資有価証券割当益	145	—
その他	52	80
営業外収益合計	553	406
営業外費用		
支払利息	42	29
固定資産賃貸費用	137	156
為替差損	29	24
その他	45	56
営業外費用合計	254	267
経常利益	1,476	844
特別利益		
固定資産売却益	0	1
貸倒引当金戻入額	10	—
退職給付信託設定益	969	1,492
その他	—	37
特別利益合計	980	1,531
特別損失		
固定資産除売却損	53	86
退職給付費用数理差異償却額	561	622
事業構造改善費用	19	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	62	—
その他	—	4
特別損失合計	697	713
税金等調整前四半期純利益	1,759	1,661
法人税等	703	728
少数株主損益調整前四半期純利益	1,055	933
少数株主利益又は少数株主損失(△)	21	△45
四半期純利益	1,034	979

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,055	933
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,017	△923
繰延ヘッジ損益	△152	△7
為替換算調整勘定	64	222
その他の包括利益合計	△2,104	△708
四半期包括利益	△1,049	225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,086	252
少数株主に係る四半期包括利益	36	△27

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,852	18,079	3,165	33,096	—	33,096
セグメント間の内部 売上高又は振替高	34	46	193	274	△ 274	—
計	11,886	18,125	3,358	33,371	△ 274	33,096
セグメント利益	1,101	580	316	1,998	△ 821	1,177

(注)セグメント利益の調整額△821百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	機能ソリューション事業	アパレル事業	ライフクリエイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,978	17,618	3,026	32,624	—	32,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31	36	208	277	△ 277	—
計	12,010	17,655	3,235	32,901	△ 277	32,624
セグメント利益	1,146	213	168	1,527	△ 823	704

(注)セグメント利益の調整額△823百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。